

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第384号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2019年2月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

ヨーロッパ研修旅行

中等部・高校吹奏楽部定期演奏会開かれる

TOP*NEWS

中等部吹奏楽部 アンサンブルコンテスト金賞受賞

スキー部 市川さん 関東大会・全国大会出場決定

柔道部(男子団体) 全国大会出場決定



ヨーロッパ研修旅行(フレデリクスボー城にて)



中等部 吹奏楽部定期演奏会



高校 吹奏楽部定期演奏会

部・同好会活動報告

ゴルフ部 関東大会出場

関東大会悔しい結果に…

2年8組 國分 康徳

今回の関東大会はとて悔しい結果に終わってしまった。大会前からショットが乱れていてあまり調子が良くない中で挑んだ関東大会だったが、1日目、2日目ともに全体的に調子が悪く、そんな中でコースを攻略しショートゲームなどでスコアをなんとかまとめてはいたが、小さなミスが積み重なりそれが大きなミスとなっしまい、自分の納得のいくスコアで終わることができなかった。今回初めて個人で関東大会に出場することができ、悔しい結果で終わってしまったが、とても貴重な体験をすることができた。一緒に回った人の飛距離やショットの正確性など自分とかなりの差を感じ、新しい課題を見つけることができた。その課題をこれからの練習につなげていき、最後の春の関東大会に出場して良い結果を残し、全国大会にも出場できるように頑張っていきたいと思う。



コースをバックに
左:國分君、右:稲田君

強い気持ち

2年2組 稲田 慎一郎

昨年の12月末、私は自身初となる関東大会に出場してきました。結果はあまりいいものではありませんでしたが、これからのゴルフ人生において重要になってくるものを得ることができました。それは、「強い気持ちはボールに移る」ということです。「スコアを崩したくない」、そう強く思ったとき、まっすぐ目標に向かうボールを打つことができました。これは、関東大会という場所だったからこそできたのではないかと思います。周りでいつも応援してくれる人たちへの感謝の思いと、今回経験したことをさらなる成長につなげ、来年度にある関東大会、そして全国大会に出場できるようこれからも練習に励んでいきたいと思っています。

付属高校生のためのヨーロッパ研修旅行

挑戦することの大切さ

3年7組 張替 仁

1年生の時からこの研修旅行に興味を持ち、高校生活最後の今年、思い切って参加することを決めました。団長をすと決まったときは二つの気持ちが入り交じりました。まず、ヨーロッパでどのような経験ができ、何が学べるのかという期待と、外国の人とコミュニケーションがとれるのか、他の付属生と仲良くしていけるのかという不安でした。しかし実際は不安を忘れてしまうほど楽しく、充実した旅行でした。異国の人と話が通じた時の喜び、歴史や文化を学び理解した時の満足感、料理のおいしさへの感動など、多くの刺激がありました。また、授業では学ばなかったヨーロッパの文化や伝統、その魅力を知ることができました。そして、ここで知り合った人たちと過ごした時間は、生涯決して忘れることはないでしょう。この研修旅行で得た最大のことは挑戦することの大切さです。あの時参加を決意しなければ、この経験はなかったからです。ここでの出会いや経験、学びを大切に、今後の大学生活や夢の実現の糧にしていけるよう、日々励んでいきたいと思っています。



オーストリア
オーベルンドルフの
記念堂にて



フランス
凱旋門にて

SSH活動報告

本校において「ファミリー・スーパーサイエンス教室」を開催(12月16日)

近隣の小学生とその保護者72組を招いて、恒例のサイエンス教室を実施しました。スタンドグラスの制作や液体窒素を使った実験、煮干しの解剖など、工夫を凝らした出展で参加者を楽しませることができました。情報通信学部によるプログラミング体験や藤城武彦先生(理学部物理学科教授)の科学講座も実施しました。



3年10組 阿部 翔

今回で3度目の参加となったFSSは、私が参加した中で最も活気のある盛り上がりを見せてくれました。今回、私が担当したジャンルは物理で、小学生に教えるには少々難しいものでした。普段、生徒という立場であるため、相手に一から知識を教えることはあまりないのですが、いざ教えてみると新鮮で、また緊張感があるものでした。教えている時間は非常に有意義な時間で子どもの賢さに感心するばかりでした。FSSは無事に成功を収めることができましたが、一つだけ心残りがあります。それは、2年連続で私が担当していた「ダイラタンシー」のブースがなくなってしまったことです。ダイラタンシーは片栗粉と水を混ぜるだけで行える非常に簡単な実験の一つで、子どもたちからも絶大な人気がありました。来年度、私が参加するかはわかりませんが、ダイラタンシーが復活していることを祈ります。

小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学「科学コンテスト」(12月16日/小田原市)において奨励賞を受賞

紫外線で植物は成長するか?

3年10組 岡本 翔星

研究の概要 紫外線A波(UVA:波長320~400ナノメートル)とB波(UVB:波長280~320ナノメートル)が植物に及ぼす影響について研究したところ、A波とB波を8:2の割合で当てたときにハツカダイコンは最もよく育つことがわかった。



僕は今回、小田原白梅ライオンズクラブ・早稲田大学「科学コンテスト」で奨励賞を獲得することができました。人間にはしわ・シミなどのマイナスの効果を及ぼす紫外線が、身近にある植物にはどんな影響を及ぼすのかというテーマのもと、3年間実験を行ってきました。実験装置を一から自分で作成したり、毎日水やりをしたり、きつい実験でした。実験結果を出そうとしても葉が枯れてしまったり、病気になってしまったりなどさまざまな挫折もありました。ですが、この課題実験で僕は一度決めたことを最後までやり切る力を獲得できました。これから大学生になるとさまざまな困難や挫折にあたるのがたくさんあると思いますが、今回の課題実験で獲得した最後までやりきる力を存分に生かして、立ち向かっていこうと思います。

SSHクラス3年生が外部の発表会に参加

SSH東京都内指定校合同発表会(12月23日/新宿区)

3年10組 岡田 達真



今までやったことのないことにチャレンジしたい、それが口頭発表に挑戦しようと思った理由でした。次に何をやるか迷っていたときにタイミングよく今回の話をいただき、すぐに了承の返事をしました。しかし、すぐに予想外のトラブルが起きました。共同研究者である稲田君が、カナダ中期留学でいなくなってしまったのです。分担してやるはずだった発表スライドの準備も一人でやることになり、それに加えてほかのやるべきことも重なり、休む暇がない1カ月でした。発表の前日まで準備や発表練習を行い、本番に備えました。その甲斐あってか、当日は緊張しつつも無事に発表を終えることができました。人前で発表をすることで、自分に比べて良い経験を得ることができたと同時に、直さなくてはならない課題も見つかり、とても有意義なチャレンジだったと思っています。今後また同じような機会があれば、また挑戦してみたいと思いました。

大分県立日田高等学校との連携事業(12月24日~26日/日田市ほか)を実施しました

昨年10月に行われた成果報告会に参加してくれた大分県立日田高等学校を、SSHクラス1年生4名が訪問しました。現地では企業訪問に関するポスター発表を行ったほか、別府温泉や九州北部豪雨(2017年7月)の被災地と一緒に訪問し、親交を深めながら科学について探究しました。



1年10組 田村 悠貴

今回、私は大分県立日田高校との連携事業研修に参加させていただきました。初めは少し緊張や不安がありましたが、日田高校の方々優しく迎えてくださり、さまざまなことを学び、3日間とても楽しく活動することができました。まずフィールドワークでは温泉地・別府を訪れ、地層見学や温泉熱の活用について学びました。また、一昨年の豪雨で被害が大きかった福岡県朝倉郡東峰村を訪れ、当時の様子や被災地の現状を伺いました。そして研修のメインであった発表会では企業連携について発表しました。初めての外部発表会だった上に3時間続けたプレゼンだったのでとても大変でしたが、多くのアドバイスをもらえ、とても勉強になったと同時に自信もついたのであります。今回の3日間を通して、日田高校の方々と共に話し合い、共に学び交流することができました。さまざまな貴重な体験やお話を通して、知識を深めて成長することができたと思います。

SSH活動速報

- 1月 9日~ 探究活動I 発表資料作成の開始(全3回)
- 1月 25日~ 公共科学論 理科教員によるユニット授業「科学と公共II」の開始(全3回)
- 1月 30日~ 探究活動II 中間発表会の開始(全3回)

学年だより 中1

校外活動 ～寄席鑑賞会～

11月30日の校外活動では、お江戸両国亭に寄席鑑賞会に行きました。落語・講談・バイオリン漫談を楽しみました。

落語のすこさ

A組 間瀬 健生

今回、僕は初めての寄席鑑賞でした。寄席はとても面白くて、そして落語家さんの演技力にとても感心しました。

まず落語の面白さについては、一人で何人もの役をこなす、ボケやツッコミをしているというものでした。物語ではボケの人が間違えて覚えたことを、ツッコミの人と練習し、おかしいところをツッコミの人が指摘していました。

そこで、笑わせるための落語家さんの演技力がすごかったです。一役がボケのだらしなさをもち、もう一役がツッコミの野太い声を出し、それをとても華麗にできていて、これが粋なのだと思います。この演技力が落語を面白くさせている一つのすこさだと思います。

最後にその演技力は普通では覚えられないものなので、とても練習が必要だと思います。それは勉強でも同じなので、頑張りたいと思いました。それを乗り越えて皆を堪能させるのにはすごいと思いました。

江戸のお笑いを見て

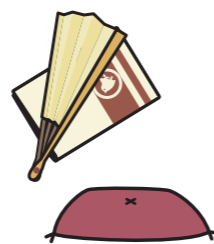
B組 川瀬 奨真

11月30日、その日は江戸の世界に入り込んでしまった。なぜなら、落語を見たからである。

落語というのを簡単に説明すると、少しおかしな話をするところである。その話が僕の笑いのツボを刺激し、とても楽しくさせてくれた。

僕らが見た演目は4つあり、ボケと突っ込みで楽しませてくれる落ちのある落語と、扇子を叩いて時代などを変えながら話す講談、バイオリンで日常よく聞く音を出したりする漫談、最後に落語で楽しませてくれた。その中で最も面白かったのがバイオリン漫談だ。演奏に加え、タップダンスもあり、とても印象に残った。

僕はこのような貴重な体験をして、落語にはこれまでに経験したことのない、笑いや面白さがあることがわかった。



学年だより 中2

校外活動 ～科学技術館～

中等部2学年は11月30日に九段下にある科学技術館に行きました。日本科学未来館に続いて2回目の校外学習である今回は、前回の経験を生かし自分の興味や関心に応じて深く学ぶことができました。体験型の展示物が多数あり、何度も何度も繰り返し見学し疑問に挑む姿が見られました。

緊張感

A組 深谷 優光

11月30日に科学技術館に行きました。館内に入ると普段見られない機械がたくさんありました。その中でも特に興味を持ったものが1つありました。それは「バス働くワールド」です。バスの運転手さんの仕事内容を、バスの仕組みも含めて紹介してありました。人の命を預かるからこそ、気を付けなければならないいろいろな作業があること。また、乗用車とは異なりカーブの角度を計算して運転しなければならないことなど、バスの仕組みを十分理解していなければならないことを学びました。そうした努力があるからこそ、事故があまりないのだと思います。人の命を預かるということは決して簡単なことではなく、失敗してはいけないという緊張が多い仕事です。毎日、安全に運転ができていることに感心し、この「バス働くワールド」に一番興味を持ちました。自分の生活も振り返り、これからは緊張感を持ちながら生活していくと、何事にも失敗しないようになると思いました。

再確認

B組 石塚 俊輝

気持ちの良い晴れの下、科学技術館に行った。ここでは、科学がどれだけ生活に関わっているか知ることになる。

1つは、レーザーの光についてだ。レーザーの光は「バーコード」や「レーザーアート」などさまざまなことができる。「バーコード」の仕組みは全くわからなかった。けれど1つだけ言えることがある。「考えてみることは何よりも大切」、このことはレーザーの光からわかったことだ。

もう1つは、非鉄金属についてだ。非鉄金属とは、銅や銀など、鉄ではない金属のことだ。この金属は、リサイクルすることができ、硬貨やスマホの部品にも使われているそうだ。だから、しっかりリサイクルできるものはして、さらに硬貨も今以上に大切にしようと思った。

今回、他にもたくさんの接点を見つけそのすこさもわかった。その中でも「物を大切に」「何事も考える」「人に感謝」、これらを大切にしていきたいと思う。



ドライビングシュミレーター



くすりの部屋「クスリウム」



バタバタ大作戦



巨大シャボン玉



車を持ち上げよう



味覚教室

学年だより 中3

中等部3年間の思い出

卒業まで残り約1カ月になりました。入学式から今まで行事や部活動などさまざまなことを経験してきました。1年生ではオリエンテーション合宿、Tokyo Sightseeing Tour、2年生ではEnglish Summer Camp、そして全ての行事に“最後”という単語がつく3年生。体育祭やスポーツ大会では中等部最高学年として後輩たちの見本になりました。

今回はこの3年間で思い出に残っていることを書いてもらいました。2月11日からはオーストラリアに研修旅行に行ってきます。中等部3年間の最後の大きな行事として多くのことを学んで帰国できればと思います。

1年 オリエンテーション合宿

A組 江川 明衣

剛健旅行

B組 山平 敦士

初めて会ったばかりの友達と仲を深めることができ嬉しかったからです。イチゴ狩りの時も友達とどれだけ食べられるか競争したことも楽しかったです。

初めて19kmという長い距離を歩き、先輩方に「あと半分」と言われたとき心が折れたのを覚えているからです。



オリエンテーション合宿



剛健旅行



Tokyo Sightseeing Tour

2年 写生大会

A組 一宮 万里河

青空や海が見える自然豊かな場所で友達と絵を描き、その楽しさが学べたからです。

English Summer Camp

B組 野上 真央

たくさんの外国人の先生とコミュニケーションがとれて嬉しかったです。さまざまなイベントがあり、楽しむことができました。その中でもダンスパーティーが一番の思い出になりました。



English Summer Camp

3年 体育祭

A組 節政 杏里紗

一番最後の全員リレーの時に皆で応援している瞬間が、クラスの団結力を感じたからです。結果的には負けてしまったけど楽しい時間を過ごせました。

体育祭

B組 齋藤 圭

スポーツが嫌いな私でも思いっきり楽しめて、皆と協力・団結したからこそできたことがたくさんあったからです。

合唱祭

A組 大塚 藍

初めは皆の心がバラバラでどうなるか心配だったけど、金賞という1つの目標に向かって練習をして、見事とることができたからです。

剛健旅行

B組 曾根原 幹人

中等部最後の剛健旅行で10位以内に入るという目標を立て、見事に達成することができたので一番印象に残っています。



体育祭



移動体育



合唱祭

部活動 サッカー部(合宿)

A組 松本 翔真

サッカー部の皆で過ごせたことがとても楽しかったです。また強豪チームと戦えて、最後の合宿で団結することの大切さを改めて学ぶことができました。

ソフトテニス部

B組 松本 凌悟

3年間同じメンバーで頑張ってきたからこそたくさんの思い出があり、達成感もありました。苦手だったことができるようになり、学んだことや上達したことがあるので印象深いです。

学年だより 高1

泉岳寺参拝

12月14日の義士祭の前に、校歌にも歌われている泉岳寺を参拝しました。事前に赤穂事件について学び、校舎周辺のゆかりの場所をめぐるしました。

3組 小倉 由佳

初めて泉岳寺に行き、四十七士のお墓にお線香をあげ、昔からあるさまざまなゆかりの物を見ました。普段の生活の中では絶対に経験のできないことで、とても充実した時間を過ごしました。特に印象に残っているところは、細川家の庭や、四十七士のお墓で、とても立派なものばかりでした。古い歴史に触れることができ、とてもいい経験をすることができました。

9組 田口 雄大

私は泉岳寺を見学して、知らなかったことがたくさんあり、驚きました。毎日通っている泉岳寺に、いろいろな出来事があったということがわかりました。四十七士の墓は立派で、大切にされていることが感じられました。昔から今まで、忘れられていないということは、すごい偉業を成し遂げたからなのだと思います。

5組 大鐘 遥

私たちは事前にビデオを見て、赤穂事件に端を発した一連の出来事について学びました。実際に泉岳寺に行ってみて、生で見ると迫力が違いました。私が特に興味を持ったのは、討ち入り後に吉良の首を洗ったといわれている井戸です。そこで私は当時の人たちがどのような気持ちだったのかと思いめぐらしました。最後に、お墓参りをして、当時の人たちのことを、身をもって感じる事ができ、とても貴重な経験でした。

10組 藏本 亜柚子

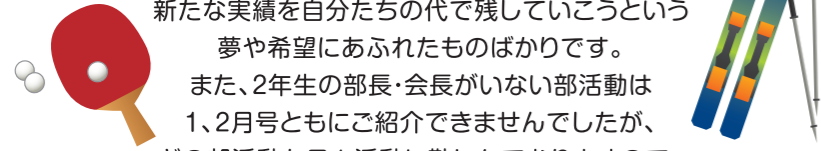
私は今まで泉岳寺の近くで過ごしなが、赤穂浪士や赤穂事件についてほとんど何も知らないままでした。しかし今回、義士祭をきっかけに忠臣蔵のDVDを視聴し、泉岳寺を訪問してこんな身近に赤穂浪士という存在があるということを実感しました。また、あの時代の浪士たちの忠誠心の高さにとっても感銘を受け、そして切腹する時の潔さには心を揺さぶられました。今の私たちはこれほど人生を真剣に生きているか顧みる機会になりました。



学年だより 高2

新部長・会長からのメッセージ ②

今月号では、先月号に続き、代替わりをした各部活動・同好会の部長・会長の目標や意気込みをご紹介します。先輩たちが築いてきた伝統や実績を守りながら、新たな実績を自分たちの代で残していこうという夢や希望にあふれたものばかりです。また、2年生の部長・会長がいない部活動は1、2月号ともにご紹介できませんでしたが、どの部活動も日々活動に勤しんでおりますので、保護者の皆様からの温かいご声援をお願いできれば幸いです。



放送部

3組 齋藤 七菜

放送部はまず全校生徒に認識されていないので、「どんな活動をしているのか」ということを知ってもらいたいです。生徒にとって大事なイベントである体育祭や建学祭でのアナウンスはもちろん、外部の活動にも取り組んでいきたいと思っています。放送部を以前よりも身近なものにし、生徒や先生方から気軽に頼ってもらえたら嬉しいです。

バドミントン部

7組 吉川 慧

文武両道という目標はもちろんですが、新体制になり改めて目標を考えました。それは「感謝の気持ちを忘れずに一球を大切に練習する」です。部員の一人ひとりが高い意識で練習し、活気があり明るい部活動にしたいと思います。また、一つでも上の結果を目指して頑張っていきたいと思っています。

男子バレーボール部

7組 村上 貴大

大会ごとに目標を立て、達成できるように日々練習をしています。大きな目標は関東大会出場です。先輩たちが残してくれた成績を上回れるように、そして、次の代に良いものを残せるように部員をまとめ、引っ張っていきよう頑張ります。

物理化学部

10組 石川 伸之介

物理化学部は、基本的に部員がそれぞれで研究を行う部活動ですが、建学祭発表や合宿など、年に数回、部全体で行う行事があります。それらの活動で部員全体が積極的に参加して、今まで以上に盛り上げることができるようになっていきたいと思います。

ソフトテニス部

9組 山崎 祐馬

ソフトテニス部は少ない人数で活動していますが、全員が日々切磋琢磨して練習に励んでいます。代替わりした頃は部を上手くまとめられずつらい思いをしましたが、今はかなり良い状況で練習をしています。次の春の大会で勝てるよう、さらにチームの士気を上げていきたいと思います。

ラグビー部

4組 小柳 考大

僕たちラグビー部の目標は、秋の大会で3回戦を突破することです。そのために、一人ひとりが高い意識を持って部活動だけではなく、学校生活や勉強にも毎日しっかり取り組んでいくよう心がけています。応援をよろしくお願いします。

弓道部

10組 鈴木 優太

弓道は常に己と戦うスポーツです。私は部長として、部員たちの模範となれるように過ごしていきたいと思います。しかし、最近では大会で結果を残せず、部のモチベーションが下がってきているので、技術面においても上達できるよう引っ張っていこうと思っています。

スキー部

10組 関 龍翔

私たちスキー部員は、大会で上位入賞することを目指し、日々のトレーニングに励んでいます。放課後は滑走に必要なバランス力、筋力、持久力をつける練習をしています。部員は少ないですが、大勢いればできる練習も増えるので、興味がある人はぜひ入部してください。

ダンス部

4組 皆川 真瑠香

新体制となったダンス部の目標は「全力勝負～17本目の華～」です。今年でダンス部は17年目ということで、今までにはない色を自分たちらしく出し、いつも応援してくださっている方々への感謝を忘れず、全てのことに対し全力で頑張っていきます。また、部長として責任を持ち、たくさんの人の力を借りながら部をまとめていきたいと思っています。

ESS同好会

10組 坂本 琢望

私はESS同好会の会長として、この同好会を今以上に活気のある場所にしたいと思っています。ESSは他の部活動や同好会と違い、新しく入ってきてはすぐになくなってしまふ人がとても多いです。だから、建学祭などでESSの楽しさを皆に広めていきたいと思います。

卓球部

5組 馬場 好基

僕たち卓球部は関東大会に出場、学園オリンピックでの優勝を目標として頑張っています。11月に行われた新人戦では第6位で関東大会出場を逃してしまいましたが、この悔しさをバネにして、次の関東大会予選では関東大会に出場できるように精いっぱい練習に励みたいと思います。

茶道部

10組 大橋 瞳子

茶道部は、茶道を学んでいく中で礼儀作法や相手への気配りを自然に身につけることができます。当たり前のことを当たり前に行いながらも、相手を思いやった臨機応変な行動を学ぶことができます。部長として茶道部の伝統を引き継ぎ精いっぱい務めていきます。

アーチェリー部

3組 小西 広起

私たちアーチェリー部は、部員10名と少ない人数で活動しています。コーチの適切な指導の下、日々、大会に向け練習をしています。3年生は引退してしまいましたが、新たに入部してきた1年生と共に、大会で上位入賞を目指して頑張っていきたいと思っています。

学年だより 高3

特別講座で企業連携実施

3年生は1月いっぱいまで特別講座期間でした。通常のカリキュラムではなく、進路に応じたさまざまな内容の授業を受講しました。その一環として企業や団体を訪問したり、出前授業をしていただいたり、貴重な経験をすることができました。本当にありがとうございました。以下にその一部をご紹介します。

ハーゲンダッツジャパン株式会社

3組 山下 拓馬

私は、ハーゲンダッツジャパン株式会社へ企業訪問し、アイスクリームを1つ作るのに多くの人たちが関わり、いろいろな分野の仕事が合わさることで美味しいアイスクリームが作られていることがわかりました。訪問して一番大切だと気づいたのは自分の仕事に誇りを持つことだと感じました。私も将来自分の仕事に誇りを持てるようになりたいと思いました。



東京都福祉人材センター、松永製作所

6組 池田 遊

私は、東京都福祉人材センター、株式会社松永製作所の方々の出前授業を受けました。福祉人材センターの方々には、身近にある福祉やそもそも福祉とは何かなどを詳しく教えていただきました。松永製作所は車椅子やストレッチャーなどの製品を製造・販売している会社で、今回実際に車椅子に乗らせていただきました。貴重なお話や体験をありがとうございました。



富士通株式会社

4組 橋本 亮也

僕は、富士通テクノロジーホールに社会科見学に行きました。富士通では、人工知能の開発やスーパーコンピュータの開発などを行っている会社です。講義の内容は、人工知能のメカニズムや海底ケーブルの仕組みと役割などを教えてくださいました。僕が将来就きたいと考えている仕事に関連することが学べて、非常に有意義な時間を過ごせました。

8組 竹下 日奈子

富士通株式会社はICT分野において、各種サービスを提供するとともに最先端、高性能かつ高品質の電子デバイスの開発、製造を販売を行っている会社です。会社では、人工知能の進化や最先端技術、また富士通で働いている方々がどのような環境で仕事をしているのかが知ることができました。今回の課外授業で私は前に踏み出す力をつけたいと思いました。どんなことでも前に踏み出さないと新しいものは生まれないのだと思いました。この授業で知ることができたものをしっかりと今後活かしたいと思います。



オリンピック教育

9組 上堀 有紀

私たちのクラスには、オリンピック教育ということで、東海大学の職員で、本校の卒業生でもある唐沢あゆみさんに来ていただきました。オリンピックの象徴とされる聖火は、必ずオリンピックから運ばれてくるという話を聞いて、とても驚きました。また、五輪のマークに使用されている色で、ほぼすべての国の国旗が描けるということや、世界がひとつなぎになるという意味があるということも印象的でした。東京23区で聖火ルートを考えたことも、改めて東京の良さ、日本の良さを考えるきっかけになりました。私も東京オリンピックのボランティアスタッフを考えていたので、今回の話はとても興味深かったです。



上記のように、それぞれのグループで聖火ルートを考えました

お知らせ

中等部3年 海外英語研修(オーストラリア)

日程 2月11日(月)～20日(水)

サンシャインコーストで9泊のホームステイを行い、昼間は各種のアクティビティを実施します。英語力をさらに向上させるための英語研修のほか、現地中学生との交流会、市内観光を行います。十分に準備をして、素晴らしい思い出を作ってください。

基礎力判定試験 高2:2月14日(木)／高1:2月15日(金)

■試験科目 国語 数学 英語 理科 地理歴史・公民

4/11(木)実施予定の基礎学力定着度試験のプレテストです。希望する進路の実現に向けて、しっかりと準備をしてください。

スポーツ大会(本校アリーナ) 高1:2月14日(木)／高2:2月15日(金)

今年度最後の学年行事です。クラスの団結力を高めましょう。

行事予定

February 2月

March 3月

- 1日(金) 中等部第1回入学試験(生徒自宅学習日)
Tokyo Sightseeing Tour(中1)
- 2日(土) 3時限授業(4時限目カット)
中等部第1回入学試験合否発表
- 3日(日) 中等部第2回入学試験
- 4日(月) 中等部第2回入学試験合否発表
- 5日(火) 中等部第3回入学試験(生徒自宅学習日)
- 6日(水) 中等部第3回入学試験合否発表 火曜日の授業
- 7日(木) 生徒休業日
- 8日(金) 朝礼 短縮授業 答案返却(中3)
- 9日(土) 3時限授業(2時限目カット) マナー講座(中3)
- 10日(日) 高校一般入学試験
- 11日(月) 建国記念の日 高校一般入学試験合否発表
海外英語研修(中3:～20日)
- 13日(水) 生徒休業日
- 14日(木) スポーツ大会(アリーナ:高1) 基礎力判定試験(高2)
特別時程(中1・2)
- 15日(金) スポーツ大会(アリーナ:高2) 基礎力判定試験(高1)
特別時程(中1・2)
- 17日(日) 新入生制服採寸・教材販売(中等部、高校推薦)
- 19日(火) 校医相談日⑩
- 20日(水) 専門医によるカウンセリング⑥
- 21日(木) 生徒休業日(中3:～22日)
- 24日(日) 新入生・保護者登校日(中等部)
高校新入生制服採寸・教材販売(付属中、一般)
- 25日(月) 英検(2次:中等部)
登校日(高3)

- 2日(土) 3年生を送る会
短縮授業(1時限目カット) 高輪会入会式(高3)
- 3日(日) 第70回(高校)・第10回(中等部)卒業証書授与式
- 4日(月) 生徒休業日
- 5日(火) 後期期末試験(高1・2:～8日) 特別時程(中1・2)
- 6日(水) 後期期末試験(中1・2:～8日)
- 9日(土) 生徒自宅学習日
新入生制服採寸・教材販売(高校延納)
- 11日(月) 答案返却
教科書販売(新高3)
- 12日(火) 生徒自宅学習日(～13日)
- 14日(木) 特別授業(～16日)
- 18日(月) 生徒自宅学習日
- 19日(火) 修了式・離任式
教科書販売(新高2)
- 21日(木) 春分の日
- 23日(土) 新入生クラス分け試験(高校)
- 25日(月) 希望者講習(高1・2:～29日)
春期講習(中1・2:～29日)
- 30日(土) 後援会委員総会④

編集後記

2019年は本学園にとって実に輝かしいスタートとなった。箱根駅伝で東海大学が悲願の初優勝、しかも大会新記録まで達成した。あの感動的な出来事から1カ月が過ぎた。月日が経つのは実に早いものだ。3日は節分、節分といえば豆まき。最近では恵方巻の方が主流になっているのかもしれない。そして、4日は立春。暦の上では春の到来である。とはいうものの本格的な寒さはこれからだ。布団から出るのも億劫になりがちだが、そんな時はあの時の感動を思い出し、自分に喝を入れ乗り切っていきたいものである。(ほ)